自衛隊は憲法違反　看板を建て替えます

法人設立から2年半　3回目の総会を開催

5月28日に一般社団法人「百里の会」の3回目の総会が開催されました。2018年11月に法人を設立してから2年半が経過しましたので、今までの活動を振り返り、今後の方針を確認する総会となりました。総会での報告、意見、決定事項などを紹介します。

1　コロナ禍でも、平和公園に看板を設置　――　事業報告

①　平和公園等の維持管理作業は、コロナ禍のため2回しかできなかったが、最多で11人の参加があった。

②　平和公園の説明用看板を初午まつりの前に新設することができた。見やすいものになった。

③　平和公園の一般見学者はコロナ禍で海外から来られなかったにも拘わらず、1年間に1782人と、2019年並に多かった。最後のファントムを撮影するためであった。

④　隔月でニュースを発行できた。

⑤　百里基地反対運動を紹介するリーフの改訂版を作成することができた。

2　大看板　自衛隊は憲法違反　を建て替える　――　事業計画

①　平和公園等の維持管理作業は、作業体制を確立し、参加者も徐々に増えているが、より若い人たちの参加を増やしたい。

②　今年度の作業は、「九条の丘（射撃場）」の看板の建替を中心とする。自公政権が今国会で遮二無二成立させた「土地利用規制法」の対象には、この看板も入っているであろうから、完成を急ぐ必要がある。まず階段づくりから始める。その完成後に、安全を重視して、無理のない計画の下で建替を進めたい。斜面での作業になるので、今まで以上に多くの方の協力を仰ぎたい。

③　原案ができている「反対運動の歴史を紹介するパンフレット」を完成させたい。

④　平和公園の地主を増やしたい。

・百里では、「一坪運動」と「新一坪運動」、「平和地主運動」と3回の共有地の取り組みが行われてきた。

・目的を明確にして、全国に呼びかけたい。目的や方法について検討を進め、年内に開始したい。

⑤　「憲法九条の碑」の建立を検討する。寄付を募って、平和公園内に建立する方向で準備を進める。

⑥　8月末に「矢臼別平和資料館」の視察と交流を行う。

⑦　事務所を平和会館内に開設することにした。百里弁護団の資料などの保管場所にもしたい。

3　メンバーは変わらず　――　役　員

理事7人と監事1人は、2年の任期途中なので変わりません。

会長：伊達郷右衛門　副会長：梅沢優、谷萩陽一　事務局長：栗又衛

百里の会

自衛隊は憲法違反

第16号　2021年7月15日

一般社団法人
百里の会
茨城県水戸市見川 5-127-281
Tel 080-9457-6381
E-mail hyakurip@gmail.com
HP　https://hyakurip.web.fc2.com

見てきました、埼玉と茨城の3つ

憲法九条の碑

百里にも「九条の碑を」建てたい

5月3日に水戸市で行われた「憲法フェスティバル」で講演者の伊藤千尋さんより「憲法九条の碑」の話を聞いた方から、憲法九条を守るために65年以上闘ってきた百里にも建てたいとの思いが「百里の会」に寄せられました。誘導路を「くの字」に曲げている「平和公園」ほど、「九条の碑」にうってつけの場所はないことに、今まで気づかなかったのが悔やまれます。百聞は一見にしかず、早速、7月9日に「百里の会」の理事4人で埼玉県春日部市、茨城県古河市、下妻市にある「碑」巡りに出かけました。

具体化はこれから

どのようなかたち（組織・デザイン・費用など）で建立をめざすかは、ほぼ白紙の状態です。土地の管理組織である「百里の会」から、この話を始めたいとは考えていますが。

春日部市の碑は、2021年5月3日に除幕式が行われましたので、できたてほやほやです。「春日部九条の会」が中心となって「春日部に憲法九条の碑を建てる会」を結成して、29団体、434人から365万円の募金を集めて建立しました（平和新聞、2021年7月5日号記事）。古河市と下妻市の碑は、個人で建てたものです。全国には18カ所（しんぶん赤旗、2018年5月3日）あるそうです。「しんぶん赤旗」記事にある一覧表をご覧下さい。

全国に広がる憲法9条の碑

県名	詳細場所	建立時期
沖縄	中頭郡読谷村座喜味（役場）	1995年
	那覇市寄宮（与儀公園）	1985年
	西原町与那城（役場）	2002年
	南風原町喜屋武（黄金森公園）	2007年
	大宜味村大兼久（役場）	2017年
	宮古島市平良下里（カママ嶺公園）	2007年
	石垣市石垣島新栄町（新栄公園）	2004年
広島	広島市勝木の団地・グリーンライフ墓地	1991年
岡山	鏡野町上斎原	2016年
岐阜	郡上市白鳥町為真（正法寺）	2005年
石川	加賀市直下（そそり）町（三谷小学校）	1992年
	輪島市門前町	2015年
	鹿島郡中能登町	2004年
長野	中野市赤岩（谷厳寺）	不明
	中野市永江（真宝寺）	2009年
静岡	藤枝市瀬戸ノ谷（杉村孝石彫工房）	2016年
茨城	古河市尾崎	2014年
	下妻市西鯨ふるさとコミュニティセンターのそばの共同墓地	2006年

春日部市

小淵山観音院の山門のそば

黒い石碑
高さ1㍍
幅2.7㍍
表に
　憲法前文
　第九条
裏に
　募金者名

古河市

尾崎の長命寺
憲法前文のみ
住職が個人で建立か。
2014年に建て、2019年に裏面に碑文を追加。

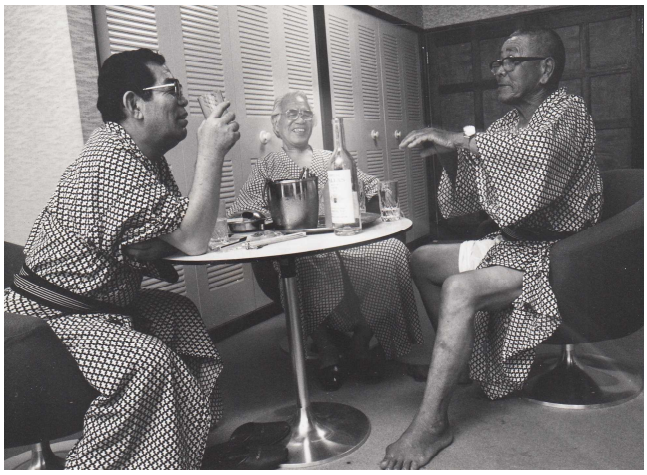
下妻市

西鯨ふるさとコミュニティセンターそばの共同墓地内
九条のみ。
下妻九条の会の安原菊夫さんが2006年に安原家の墓地内に建てた、

百里の魅力

1989年・百里初午祭に寄せて

池田眞規　（百里弁護団、故人）



今年の初午祭に、反対同盟の宣伝紙「百里」を出すので、百里裁判の見通しなど書いてほしい、と宮澤委員長から電話があったので、気軽に引き受けたものの、いざとなると少し困った。というのは、最高裁の判決の予想は簡単に出来ないし、色々なケースが考えられる中から、少なくとも、原審の東京高裁の判決は、最高裁にとっても、そのまま認めるわけにはいかない判決だ、ということだけは確かだと、言える位だからである。又、この様な政治状況の中で、最高裁の判決が、人民の広汎な平和、反戦の運動の波を左右する程の影響力をもつものと恐れる必要もないだろう、と私は思う。百里の農民達は、かつて弁護団に対して「百里裁判で勝ったらこの百里基地はなくなりますか」と尋ねて弁護団をギョとさせたことがある。

百里の農民達は、長い長い、軍事権力との直接の闘いの中で、戦争のための基地をなくす力は、人民の闘いであることを体で知っているのである。裁判は、その人民の闘いの一環なのだ。といって裁判を決して軽視しない。むしろ、非常に大事にする、しかし、裁判に全面的に頼ることをしない。この辺りの百里の反対同盟の人々の信念と行動は、実に見事、と.いう外はない。

自衛隊という名の憲法違反の軍隊は,,30年もかかつて、このような凄い百里の農民を鍛え上げたのだから、皮肉なことである。彼らは「戦争のためには土地を渡さない」という目的で一致し、団結し、行動する。30年余の間、人間的な悩み、迷い、邪念、疲労、その他様々な困難を乗り越えて、一つの信念を貫き通した。その人間の凄さをもっているはずなのに、彼らは、凄さを感じさせない。共通する点は、明るい楽天性である。彼らは、自分の頭で考え、自分の考え方を自分でつくり出して行動する。真似ごとはしない。指針がしっかりしているから、その実現のために、創造的に自由な発想をする。その傑作が「基地の中の平和公園」という壮大な、そして嬉しくなる発想だ。「軍事基地を平和公園に」と言うスローガンは、基地撤去闘争の共通のスローガンとしても素晴らしい。全世界の人民が、この共通スローガンで闘えば「戦争が地球からなくなってしまう」という愉快な夢をもたせるではないか。当初の航空自衛隊百里基地の建設反対闘争が、30年余の闘いの中で、世界中の反基地闘争でも、最も先進的な闘いを示すに至った、という事実を、私たちは、百里の農民達と共に確認してよいと思う。

そして、私は、平和運動に参加する中で、素晴らしき百里の農民と戦友になれたことを心から幸せに思い、又誇りにしたい。百里の闘いは、これから更に長く苦難の道を続けるだろう。しかし、世界の人民の平和を求める闘いの歴史の流れは、確実に、百里の農民達が目指してきた方向に進みつつあることは間違いない。だから百里の農民達は自信にあふれて、楽天的なのだ。

これが百里の魅力なのだ。平和公園の完成、また魅力がふえました。百里の闘いは、本当に人々に元気を与えてくれる。

百里の農民達は、平和を愛する人々の希望の星なのだ。

百里で始めた開拓生活　（その1）

梅沢　優　（百里基地反対同盟・百里の会）

私は百里開拓の地に二世として生まれました。百里は海軍の基地でしたが敗戦で大蔵の管理となり、県が開拓地として入植を進めた所です。何年か前までは測量をした人も生きていましたが、今では入植者のほとんどが亡くなっています。

営農は陸稲、麦、なたね、落花生、澱粉芋が主でしたが、なだらかな丘を削った平地は、痩せていて収量は上がりませんでした。来年の種まで食べてしまう農家もあり、機械一つない厳しい生活を強いられていたのです。兵舎の残骸で造った家は、強風で飛ばされ土台からよく落ちましたので、どの家も三方につっかえ棒が付いていました。冬は枕元に雪が積もり、畳はなく天井もありませんでしたが、雨風はしのげました。戦場跡でしたので、機銃弾や爆弾の破片は良く出ました。私は赤とんぼ（95式か97式）を2機掘りました。ジュラルミンは白く腐っていましたが、木と布の飛行機でしたから、橙色のペンキ片には布の模様がはっきり付いていました。不発弾は広く掘ったら必ず出ました。隣の家の裏で20年前位に出たロケット弾の現場処理で、私は初めて戦争の音を聞きました。腹にズンと響く音は、母親の受けた恐怖を思わせるに足りる戦場の音でした。

家には200円の税金が払えず、延滞の督促状が何枚も届いて、母は実家が近かったため、お金の無心に行ったことを聞かされました。父は東京の人で満州の黒竜江省で、中国の人の畑を取り上げた所に入植したそうです。中国人は収量の上がらない所へ、追われたとの事でした。興安嶺の山並の話や、狼の追い払い方などを教わりましたが、犬にしか役に立ちませんでした。夜になるとどぶろくを仲間と飲みながら、どこをどう逃げてきたかを話していました。兵隊や満蒙開拓青少年義勇軍の人達で、帰還途中の悲惨さも聞けましたが、ロシア軍が戦車で開拓村に砲撃してくると、女の人は気が狂ってしまったそうです。単身でしたので仲の良かった中国人から、服をもらって生還できたと言っていました。人の死をいくらも見てきた人達ですから、死人が出ると道の側で火葬にします。棒で突つきながら、石油をかけて燃やすのですが、人の臭いは今でも憶えている様な気がします。殺人事件が起きた時は、家の戸板を外して衆人見物の中、若い女性を解剖したのです。お子さんは同級生でしたので、入学時には子ども心にも気を使いました。もちろんお墓もありませんから、

「く」の字に曲がる百里基地内の誘導路を示す梅沢優さん＝7日、茨城県小美玉市

集落で決めた所に埋葬します。私は21才で百里の区長になりましたが、古い集落の墓地を示しての、公文書改ざんを2度やらかして埋めてしましました。

水は少なく、石は出る、立木一本無い平地には風が吹きまくり、今よりずっと寒かったのです。焚き木はありません。全くないのです。開墾して叩いた、野芝を燃やして飯を炊くのです。電気が来たのは戦後10年もたった頃でしたので、燃料を一升瓶で買いに行く石油ランプのホヤ磨きは、手の小さい子どもの仕事です。夜はまっ暗です。つるべで汲んだ五右衛門風呂は3日くらい使います。ノミやシラミ、蚊は平気ですが、ぶゆとあぶには悩まされました。後ろは樺太、隣は栃木、前は長野と全国区で何十軒ですから、遊びに行くと、途端に標準語で話してくれますので、百里の子どもは言葉がきれいだと言われましたが、学校でおかずの少ない弁当を、隠して食べるのも百里の子どもでした。

そんな所に再び戦争用の基地を造るという話が出たのは、私が小学校に入るすこし前のことでした。

＊茨城AALA会報　173号　2021年2月1日より転載

（続く）

自己紹介　戦争の為の基地に反対し、土地を売らずに自衛隊の解体を目指す平和運動の一員です。憲法には個別的自衛権すらも書いてありません。21世紀の人類の未来は、武力からは生まれないと確信して活動しています。